

放送局間の映像伝送をよりスムーズに TVh と TVO が素材共有システムを共同開発 「Interop Tokyo 2025」で民放4社による実証実験

㈱テレビ北海道(TVh、札幌市)は、放送局間における映像・音声などの素材共有を効率化する「放送素材シェアシステム」をテレビ大阪(㈱TVO、大阪市)と共同で開発しました。6月11日から13日まで幕張メッセ(千葉市)で開催される「Interop Tokyo 2025」内のネットワーク技術展示「ShowNet」にて、TVhおよびTVOに加え、㈱テレビ朝日と㈱宮城テレビ放送の民放4社による実証実験として一般公開します。

本システムでは、複数の放送局が互いの素材をシステム上で共有、受信局が発信局の機器をリモート操作することで素材を自由に取得します。このため、従来必要だった専用回線の確保や受発信局間の事前調整が不要となり、簡便かつ柔軟な素材伝送が可能となります。

また、SDIやIPなど、異なる伝送フォーマット間の互換性もあり、各局が使用している信号方式に応じて自動で変換されます。さらに、インターネット回線など各局の運用に適した回線を選択できる構成とし、高い運用自由度を実現しています。

これにより、災害発生時などの緊急対応において、被災局が保有する重要映像や音声素材をリアルタイムで他局が取得することを可能とするなど、放送の即時性・柔軟性を大幅に向上することが期待されます。

本システムでは、TVhが独自開発したマスター監視システム「バーチャルマスターオペレーター(VMO)」の技術が活用されています。

「放送素材シェアシステム」操作画面



【問い合わせ先】

テレビ北海道：

札幌市中央区大通東6丁目12番地4 Tel:011-232-1122

技術・DX推進局 高橋康二

【備考】

1. バーチャルマスターオペレーター(VMO)：

放送局のマスター(主調整室)業務をはじめ、ビル・工場・インフラ設備などの監視業務をリモート運用できるシステム。パソコン画面に各種監視ルームを忠実に再現し、実際の監視室にいるのと同様にリモートで監視・制御する。既存設備を改修せずに低コストかつ迅速に導入でき、監視制御サーバーを設置することで複数拠点を同時に統合監視することも可能。

(<https://www.tv-hokkaido.co.jp/special/virtual-master/>)

2. SDI・IP：業務用映像機器で使われるデジタル映像と音声の伝送規格。